

発電所構内ガイドツアー

開催日時 毎週土曜日・日曜日・祝日

1便 10:30~11:10 2便 11:30~12:10
3便 13:30~14:10 4便 14:30~15:10

※上記日時以外でもご希望にあわせてご見学いただけます。

参加方法

事前にお電話でお申し込みください。

お願い事項

- ・出発30分前までにサービスホール受付までおいでください。
- ・発電所構内に入るにあたり、ご本人確認をさせていただきますので、運転免許証または住民基本台帳カード(顔写真付)をご持参ください。

その他

構内ガイドツアー各便の15分前より、発電所の現況について説明いたします。お申し込みは不要です。

【お問い合わせ】 サービスホール ☎0120-34-4053 (9:00~17:00)



発電所構内ガイドツアー



発電所の現況説明

サービスホール説明会

開催日時 1月26日(日) 12:20~13:20

説明内容 福島第一原子力発電所の事故を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策実施状況等
※お申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。



サービスホール説明会

【お問い合わせ】 サービスホール ☎0120-34-4053 (9:00~17:00)

(お申し込み)

みなさんの声をお聞かせください
1. 「放射線」について、ご質問がございましたら、お聞かせください。

2. 発電所に対して、その他ご意見・ご質問がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました

みなさまからの
様々なご疑問に
本紙でお答えさせ
ていただきます。
日頃から疑問に
思っていることやご意見等
をお寄せください。

2014年1月19日発行 (H25-R-9)
編集発行責任者
柏崎刈羽原子力発電所広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448 (平日9~17時)

news
atom
ニュースアトム

地域とともに
東京電力
TEPCO
柏崎刈羽原子力発電所

2014年1月

発電所ニュース

引き続き、安全対策を着実に進めてまいります

◆ 発電所では津波を防ぐ防潮堤が完成し、建屋内部への浸水防止対策の強化や電源・冷却設備を多様化するなど設備面の対策を進めています。また、それらを使った訓練を継続的に実施し、災害に強い発電所を目指してまいります。

防潮堤施工前 (H23.10)



防潮堤施工後 (H25.10)



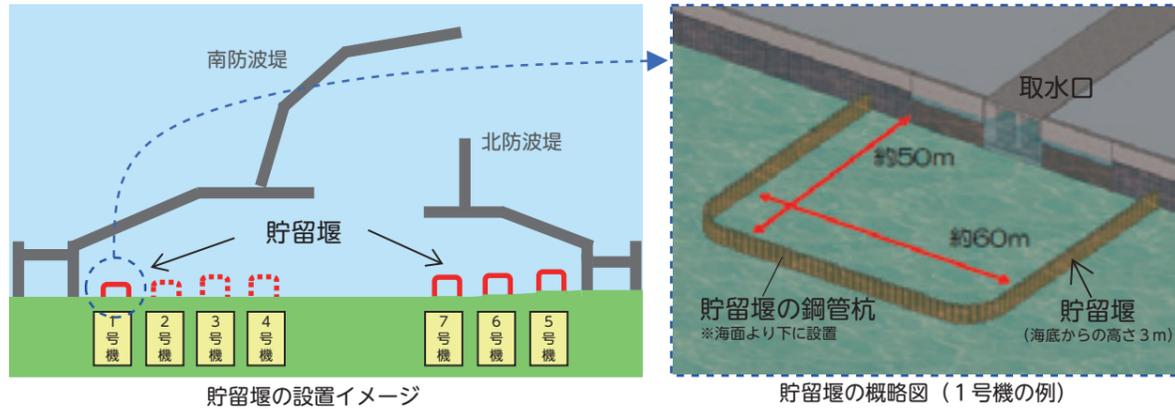
みなさまの声にお答えします

Q. 発電所で更なる安全対策は何か進めていますか？

A. 引き波対策として貯留堰ちりゅうぜきを設置するなど、様々な安全対策を進めています。

貯留堰とは、津波の前に引き波が生じた場合であっても、原子炉を冷やすために必要な海水を溜めておくための設備で、取水口の海側に設置します。引き波により貯留堰の周りの水がなくなっている間も、継続的に原子炉を冷やし続けて燃料の損傷を防ぎます。

1、5、6、7号機の本体工事は先月までに完了しています。



また先月、緊急時に使用する資機材用の倉庫が発電所内の高台に完成しました。この倉庫は、じゃばら構造のテント式で、地震によって倉庫が損傷した場合でも、中の資機材を取り出すことができます。

この他にも、様々な安全対策を進めています。



発電所ホームページでのご紹介

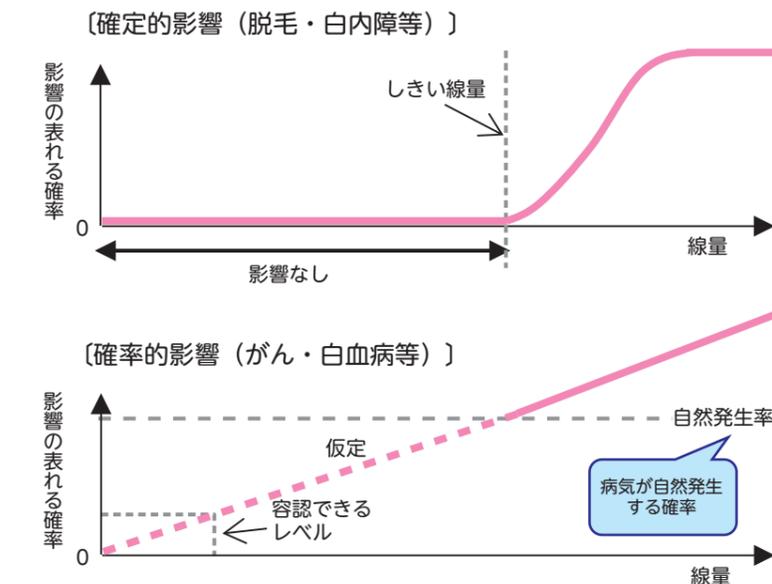
安全対策の実施状況をタイムリーにお知らせしています。ぜひご覧ください。
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

今後もみなさまの声にお答えしてまいります

【シリーズ】放射線のはなし⑳

～確率的影響の発生～

- ◆放射線が人体に及ぼす影響には“確定的影響”と“確率的影響”があります。確定的影響は先月号でもお知らせしたように、しきい線量と呼ばれる一定量を超える大量の放射線を受けた場合に発生する影響です。
- ◆一方、確率的影響は少量の放射線を受けた場合でも発生する可能性がある影響で、受け量が多いほど発生する確率が高くなるといわれています。なお、発生した症状の重さは放射線の量とは無関係です。
- ◆実際には、自然発生率以下での影響（---線部）は確認されていませんが、確率がごくわずかであっても受け量に比例して障害が生ずると仮定して対策をとり、被ばく線量の上限值として線量限度^(※)を定めて管理しています。



(※) 線量限度

- ◆宇宙や大地からなど自然界から受ける年間放射線量は世界平均で、2.4ミリシーベルトです。
- ◆放射線業務従事者を除く一般公衆に対する線量限度は、自然界からの放射線や医療で利用されている放射線（例えば胸部X線CTは、1回あたり6.9ミリシーベルト）を除いて、年間1ミリシーベルトと定められています。
- ◆また、放射線業務従事者に対する線量限度は年間50ミリシーベルトかつ5年間で100ミリシーベルトと定められ、放射線による確率的影響の発生を容認できるレベルに制限しています。

出典：電気事業連合会「原子力・エネルギー図面集」

【発電所ミニデータ】

- 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は5,228人です。(12/2時点)
- 内訳は以下のとおりです。

＜東京電力＞		(人)
県内	柏崎市	829
	刈羽村	81
	その他	116
県外		95
＜合計＞		1,121

＜協力企業 ^{*1} ＞		(人)
県内	柏崎市	2,212
	刈羽村	178
	その他	879
県外		838
＜合計＞		4,107 (3,536 ^{*2})

※1 登録人数を計上
 ※2 12/2の構内入構者数

料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部 行
 (柏崎支店私書箱53号)

945 8790 4

差し支えなければご記入ください

ふりがな

お名前

年齢 歳 男・女

ご住所

お電話番号

ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。

(2014年1月号)

柏崎支店 承認 16

発行有効期間 平成27年3月15日まで (切手不要)